

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム きらら

## 目標達成計画

作成日：令和 4 年 10 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	行政とのかかわりが深めるようにしてはいかがでしょうか。	管理者ばかりではなく、準ずる職員も行政との関りを持ち、必要な時には対応出来るようにする。	準ずる職員と共に、行政に赴き関係づくりを行う。以降は、職員も必要事項の連絡・相談などの対応を行っていく。	6ヶ月
2	7 (6)	身体拘束の勉強会について、学びの仕方を考慮してはいかがでしょうか。	勉強会・委員会にて、職員達が日頃から身体拘束について意識出来るような方法を検討し、全体に周知を行う。	文字ばかりの書類の配布だけでなく、挿絵などを使った、具体的に分かりやすいものを職員が日頃から目に入りやすい所に掲示する。また、身体拘束の事例検討をグループワークにて行っていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。